
「当院妊孕性温存外来における心理支援に関する後方視的研究」

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024年4月1日から2024年9月30日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し妊孕性温存外来の心理カウンセリングを受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

近年、がんなどの原疾患の治療前後で妊孕性温存を検討される方への心理支援の重要性が広く認識されるようになっていますが、心理士の支援のあり方がいまだ十分確立しているとは言えません。当院での妊孕性温存カウンセリングの実施状況を調査することで、より有効な心理支援の実施方法を検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年09月30日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年11月7日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター産婦人科医局において、研究分担者である大野麻美が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

妊孕性カウンセリングを受けられた患者さんの、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター

産婦人科	高井 泰(研究責任者)
産婦人科	大野 麻美(研究分担者)
産婦人科	菅沼 真樹
産婦人科	板谷 雪子
産婦人科	鮫島 浩輝
産婦人科	重松 幸佑
産婦人科	一瀬 俊一郎
産婦人科	宮下 真奈美
総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門	柏原 聡一郎
総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門	武井 かほり
総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門	五味 陽亮
総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門	成田 達哉
総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門	松永 茂剛
総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門	野口 梨佳

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 産婦人科 高井 泰

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3681（直通）（平日 9 時～15 時）

○研究課題名：当院妊孕性温存外来における心理支援に関する後方視的研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター 産婦人科 高井 泰